

日本水産学会創立 85 周年記念事業協賛ご寄付のお願い

大日本水産界に加盟しておられる諸団体様におかれましては時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より公益社団法人日本水産学会の活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

1. 日本水産学会創立 85 周年記念事業開催の趣旨と事業内容

日本水産学会は昭和 7 年（1932 年）2 月 27 日に設立され、平成 29 年（2017 年）に創立 85 周年を迎えることとなります。

そこで、本学会は平成 29 年に創立 85 周年記念事業を行うべく、記念事業委員会（特別委員会）を立ち上げ、この記念事業委員会のもとに、国際シンポジウム実行委員会、資料集編纂委員会、研究の動向編集委員会、デジタル版水産学用語辞典編集委員会、記念式典実行委員会などを設置しました。創立 85 周年記念事業においては、研究の動向編集委員会や資料集編纂委員会で、公益法人化や大震災復興支援などに携わった激動期を含む創立 70 周年記念事業後の 15 年間の水産学の発展と本学会の歴史を取りまとめます。また、国際シンポジウムでは「Fisheries Science for Future Generations」（次世代に向けた水産学）をテーマに、国内外で 1400 名程度の参加者を計画し、特に大学院生を含む若手の研究者の参加を積極的に推し進めます。また、海外からの水産関係の著名研究者の招待講演も計画しており、今後のわが国の水産学の将来を担う人材の育成に邁進する予定です。

2. 国内外の若手研究者の参加を促す国際シンポジウム

創立 85 周年記念式典は平成 29 年 9 月 21 日（木）に東京大学伊藤国際学術センターで、国際シンポジウムは同年 9 月 22 日（金）～24 日（日）に東京海洋大学で開催する予定にしております。国際シンポジウムの特徴のひとつは、国内はもとより海外からの若手の参加を促すために参加費を国内大会並みに抑えたことです。本来であれば、国際シンポジウム開催に必要な費用は参加登録費で賄うべきところですがこのような大会運営方針のために創立 85 周年記念事業には多額の支援金が必要となり、これを日本水産学会会員のみならず、関連業界の諸企業、諸団体からのご厚志に頼らざるを得ません。

3. 本事業への協賛・ご寄付

本事業の趣旨に深いご理解とご賛同を賜り、以下のような協賛ご寄付という形での格別のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

a. スポンサー

○ ダイヤモンドスポンサー(¥500,000 以上)、プラチナスポンサー(¥200,000 以上)、ゴールドスポンサー(¥100,000 以上)、シルバースポンサー(¥50,000 以上)、ブロンズスポンサー(¥20,000 以上)を設定させていただいております。

プラチナスポンサー以上には記念式典へのご招待をさせていただきます。

b. 広告

- ・ URL 広告：ご希望の協賛者には日本水産学会創立 85 周年記念事業のサイトより貴社貴団体ホームページのリンクをお貼りします。
- ・ 国際シンポジウム要旨集掲載広告：参加者へ配布する要旨集に広告を掲載します。

(¥150,000 / 1 ページ、¥100,000 / 半ページ)

c. 申込みおよび払込み期間

- ・ 申込み：平成 28 年 7 月 1 日?平成 29 年 7 月 30 日まで
- ・ 払込み：平成 28 年 7 月 1 日?平成 29 年 8 月 31 日まで

d. 日本水産学会の本事業担当

上記担当は募金委員会 幹事 佐野元彦（東京海洋大学水族病理学研究室内、TEL：03-5463-0554 FAX：03-3471-2054、E-mail：85th-jsfs@jsfs.jp）でございます。ご質問などございましたらご連絡ください。

e. 協賛申込み方法

協賛申し込み方法の詳細は日本水産学会のホームページ <https://www.gakkai-web.net/gakkai/jsfs/memorial/index.html> をご覧ください。

f. 税法上の取り扱い

この協賛金は、公益社団法人である日本水産学会への寄付金として、税法上一定の優遇措置が講じられます。

平成 29 年 6 月吉日

公益社団法人日本水産学会会長 塚本勝巳
日本水産学会創立 85 周年記念事業委員会委員長 渡部終五
同委員会募金（財務）委員会委員長 青海忠久
同委員会国際シンポジウム実行委員会委員長 佐藤秀一